

# 令和5年産 水稲栽培ごよみ

## ヒノヒカリ・実りつくし

三井地区農業振興協議会  
JAみい  
久留米普及指導センター

月	5月		6月		7月			8月			9月			10月																
旬	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中															
生育相	は種	育	苗	田植	有効分げつ期			無効分げつ期			幼穂形成期			出穂期			登熟期			成熟期		成熟期								
水管理	浅水管理				間断灌水			中干し			間断灌水			浅水管理			間断灌水													
主な作業	●ミネラルG又は珪鉄 麦わらすき込み ●基肥 (耕起前)				●除草剤 ●田植坪60株植え			●茎数の早期確保			●穂肥1回目 (幼穂長3~5mm程度)			●穂肥2回目			●実りつくし出穂期 ●ヒノヒカリ出穂期			●根の健全化に努める			●落し水		●ヒノヒカリ成熟期(出穂後41日頃)		●実りつくし成熟期(出穂後44日頃)		●ふるい目1.85mm以上 ●適期収穫に努め品質低下を防ぎましょう。	
病害虫防除対策	粉剤体系		液剤体系		粒剤体系		粉剤体系		液剤体系		粒剤体系		粉剤体系		液剤体系		粒剤体系		粉剤体系		液剤体系		粒剤体系		粉剤体系		液剤体系		粒剤体系	
	アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日		コブノメイガ いもち病・ウンカ類 アンコール箱粒剤 田植3日前~当日	
	50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱		50g/箱	

※いもち病対策 コラトップ粒剤5 3~4kg/10a 多発生が予想される場合は、葉いもち発生前散布(初発10日前~初発時)が効果的。出穂5日前まで

### 土づくり

- 1.地力増進のため、麦わら・稲わらは全量すき込みましょう。または、大地めぐみちゃん(堆肥)1t/10a 施用し有機物をおぎないましょう。
- 2.土壌改良資材(ミネラルGまたは、珪鉄を100~200kg)を施用しましょう。

### 塩水選と種子消毒

○塩水選

種子の種類	比重	水10ℓに溶く量	
		食塩(kg)	硫酸(kg)
うるち	1.10	1.42	1.92

(食塩か硫酸かどちらか一方を溶く)

生卵による目安



○種子消毒(もみ枯細菌病・ばか苗病・いもち病・イネシソウカレセンチュウ)  
水10ℓ(粃5.5kg分)当り  
(テクリードCフロアブル 50mℓ)  
(スミチオン乳剤 10mℓ)  
の混合液に、24時間浸漬する。  
※薬剤の量を厳守する。  
※浸漬中に2回の攪拌を行なう。  
○種子消毒後は水洗いせずに、その後停滞水につけ1日1回水を換え、芽出しを行なう。  
※種子消毒の残液が河川や地下水などに流入しないよう注意する。

### 一般水田雑草除草剤使用基準

◎初・中期一発除草剤

時期	除草剤名	10a当り使用量	使用時期	使用目安時期(移植後日数)
初・中期一発	ガンガン1キロ粒剤	1kg	移植時~ノビエ3葉期	0~12日
	サラブレッドKAI1キロ粒剤	1kg	移植時~ノビエ2.5葉期	0~10日
	ジェイソウルジャンボ	10パック(小包装)	移植後1日~ノビエ2.5葉期	1~10日
	ラオウジャンボ	10パック(小包装)	移植直後~ノビエ2.5葉期	0~10日
	ウイニングランフロアブル	500ml(1本)	移植時~ノビエ2.5葉期	0~10日
プライオリティブフロアブル	500ml(1本)	移植時~ノビエ3.5葉期	0~14日	

- ①除草効果を高めるため、湛水状態(3~5cm)とし、散布後7日間は落水・かけ流しはしない。
- ②移植時処理については、田植同時散布機で施用する。
- ③次のような事項は薬害が生じる可能性があるので注意しましょう。
  - ・田面が不均一なほ場、軟弱苗や極端な浅植え等での使用
  - ・強風下での使用
  - ・フロアブル剤、ジャンボ剤の漏水田での使用(特にジャンボ剤については水深5cm程度を保つ。)

◎中・後期除草剤

適用雑草	除草剤名	使用量	使用時期	使用方法
		10a当り		
水田一年生雑草 広葉雑草のみ	バサグラン粒剤	3kg	移植後15~55日ただし、 収穫60日前まで	・落水状態(足跡に水が残る程度)を 保ち均一に散布を行なう。
水田一年生雑草 ノビエ(5葉期)	クリンチャーバスME 液剤	1000ml	移植後15日~ノビエ5葉期 ただし、収穫50日前まで	
イネ科雑草 ノビエ(6葉期)	クリンチャーEW	100ml	移植後20日~ノビエ6葉期 ただし、収穫30日前まで	・落水し雑草の茎葉が田面に出ている 状態で散布する。

- ①薬剤ごとに適用葉齢、水管理、使用時期が異なるのでラベル等をよく読んで使用して下さい。
- ②効果を高めるため3~5日間は散布時の状態を維持する。降雨があっても7日間は落水しない。

### 施肥基準

◎ヒノヒカリ (kg/10a)

施肥例	基肥	施肥量	穂肥	施肥量
I	ちくごのめぐみ 444	40kg	NK化成2号	20kg
II	一発タイプ 元ヒ一発2号	45kg	-	-

◎実りつくし (kg/10a)

施肥例	基肥	施肥量	穂肥	施肥量	
				1回目	2回目
I	ちくごのめぐみ 444	40kg	NK化成2号	15kg	10kg
II	一発タイプ 晩生一発エムコート44	45kg	-	-	-

※穂肥の2回目は1回目の7日後。

### 品種特性表

(出穂期・成熟期はJAみい調査データ)

品種名	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂長 cm	m <sup>2</sup> 当り 穂数本	耐倒 伏性	玄米 千粒重g	10a当り 収量 kg	品質	食味	耐病性	
											いもち	白葉枯
ヒノヒカリ	8/27	10/6	84	19.0	379	やや弱	22.5	554	上の中	上の中	やや弱	やや弱
実りつくし	8/31	10/13	81	20.6	348	やや弱	23.7	598	上の上	上の上	やや弱	中

※実りつくしは、いもち病に弱いので適期防除に努める。

### 農薬使用上の注意

- ① 粉剤は散布後、殺菌剤で6時間、殺虫剤で3時間以内に降雨にあった場合は効果が劣るので天候に注意して散布しましょう。
  - ② 農薬によるミツバチへの危害防止のため、稲の開花期に農薬の使用は避けましょう。
  - ③ 安全・安心な農産物を確保するため以下のことに注意しましょう。
    - ・この層は、令和4年12月時点の登録情報に基づいて作成しています。
    - ・農薬の登録内容は随時変更されますので、使用時はラベルを確認し、使用基準を遵守しましょう。
    - ・周辺作物へ農薬の飛散がないように注意しましょう。
- ※収穫前に栽培日誌の提出をお願いいたしますので、農薬による防除を行った場合必ず記入して下さい。

### 米は全量JAへ

JA米の要件  
 ・銘柄が確認できた種子により生産された米穀  
 ・登録検査機関で受検した米穀  
 ・生産履歴記帳が確認された米穀  
 「JA米とそれ以外を区分してJAに出荷しましょう」  
 令和4年12月作成